

〇〇もんずら

かたつむり

♪でーんでーんむーしむーしかたつむり♪
カタツムリは巻貝の仲間で、昆虫の仲間ではないとのこと。雨の静けさや穏やかな日常を思わせ、人気の生き物ですが・・・。



下田屋小1年 宮本結香

かたつむり

リユー・ユイ

かたつむり

おかしいな

目だまがつの上にある

おかしくない

おかしくない

目だまが上ならよく見える

かたつむり

おかしいな

おうちをしょってあるいる

おかしくない

おかしくない

ときにあつたらもぐりこむ

かたつむり

おかしいな

おなががそっくり足になる

おかしくない

おかしくない

足がおおきけりやあんぜんだ

かたつむり

のろいなあつこかないのとおんなじだ

のろくたつて

のろくたつて

とまらなきやいいんだよ

【少年少女世界文学全集(講談社)】

低学年の国語の教材に取り上げられることもあります。内容の面白さ、リズムの楽しさが子ども達をひきつけます。「おかしい」とくり返す話者と「おかしくない」という話者（かたつむり自身）のやりとり。目で読んでも声に出して読んでも面白くて楽しい詩です。巻貝が地球上の海に現れたのはおよそ6億年前とか。それからカタツムリの先祖が陸に進出するまで2億年以上かかったそうで、「のろくたつて、のろくたつて・・・」進化の過程を想像しながらカタツムリを探していますが、今年はまだ出会っていません。

梅雨や初夏の季語ということで、

かたつぶり角ふりわけよ須磨明石 芭蕉^{みの}「猿蓑」

白露や角に目を持つかたつぶり 嵐雪「其便」

かたつぶりけさとも同じあり所 召波「春泥発句集」

きりきりと渦巻く殻の蝸牛 山口誓子

ちぢまれば広天地ぞ蝸牛 正岡子規

^{かたつむり}蝸牛は角があつても^{のどかな}長閑哉 寺田寅彦

【参照：きごさい歳時記 575筆まか勢】

